

2009年11月2日

各 位

オリックス自動車株式会社

池田市と共同で『公用車へのカーシェアリング導入調査』を実施 ～国内初、市役所の業務車両にカーシェアリング車両を活用～

オリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：三谷 英司）は、2009年11月2日より、大阪府池田市などで組織される「池田市モビリティ・マネジメント検討会」と共同で『公用車へのカーシェアリング(*1)導入調査』を開始しますのでお知らせします。
(調査期間：2009年11月2日～2009年12月25日)

今回の調査では、公用車へカーシェアリングを導入することで、業務中における車両利用の効率化や保有コストの削減について検証します。同時に、実験期間中は池田市民や周辺の企業などにもカーシェアリング車両(*2)を開放し、CO2削減や渋滞緩和など環境問題解決の可能性や車両コストの削減、公共交通を補完する移動手段の確保など、地域貢献効果も検証します。

実施にあたり、カーシェアリング車両を池田市役所の駐車場に2台、細河みどりの郷に1台を設置します。利用対象者は、池田市役所職員60名と周辺の企業や周辺住民となります。市役所の駐車場を使用したカーシェアリング導入調査は、今回が国内初の取り組みとなります。

オリックス自動車では、2008年11月から2009年2月まで京都府と共同で、京都府庁においてカーシェアリング導入実験を実施しました。その際、参加者全体の走行距離はカーシェアリング入会前と比較して約15%削減されるなどの結果が出ています。

今回の池田市との調査を皮切りに、今後も大阪エリアにおいても、地域や社会からのニーズに応える活動に積極的に取り組んでまいります。

以上

- (*1)複数のクルマを多数の会員で共有(シェア)するしくみ。車両購入費や燃料代、税金、保険などの保有コストの削減が可能。最短30分、15分単位での利用が可能で、利用ごとに料金がナビ画面に表示されるため、車利用の抑制効果がある。
- (*2)カーシェアリング専用システムやICカードリーダーなどが搭載されており、利用者はICカードで鍵の開錠・施錠を行う。

【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス自動車株式会社 社長室：矢崎・滝川・音田
：03-6436-6030

【ご参考】

池田市とのカーシェアリング導入調査スキーム



公用車へのカーシェアリングの導入について（海外事例）

カーシェアリングの公用利用の例として、アメリカのフィラデルフィア市が挙げられます。市が所有していた車両の6%にあたる330台を削減してカーシェアリングを導入することにより、市は購入費用、駐車場代、メンテナンス・修理費、燃料費の削減、休日に稼動していない公用車の効率利用を実現。周辺住民はマイカーをカーシェアリングに切り替えることで車にかかるコストを削減することが可能となっています。

オリックスカーシェアリングの関西エリアでの取り組みについて

オリックス自動車は、2002年より環境負荷低減の一役を担うカーシェアリング事業を展開してまいりました。2007年10月には、京都議定書採択の地である京都エリアで展開を開始し、カーシェアリングの普及を推進しています。環境意識の高まりや物価高の影響から、オリックスカーシェアリングの会員数は6,500人にのぼり、このうち京都エリアは750名となっています（2009年9月末日現在）。今年度内に、大阪エリアでの展開も予定しています。